

# 令和6年度 大賀茂小学校グランドデザイン



## 【児童の実態】

- ・優しく素直な児童が多い。穏やかで接し方が温かい児童が多い。
- ・仕事や学習に前向きに取組み、役割を忠実に果たそうと努力する。
- ・異学年間の交流が活発で、協力し活動する。

## 【保護者・地域の実態】

- ・保護者や地域が教育活動に対して理解があり、協力的である。
- ・地域の中の学校という意識があり、学校に対する温かさがある。
- ・学校と地域との結びつきが強く、稲作活動など地域と密着した体験活動を行うことができる。

## 【教育行政の基本方針】

### <静岡県>

- 1 「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現
- 2 未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現
- 3 社会総がかりで取り組む教育の実現

### <下田市>

教育の理念：「下田に誇りを持ち、未来を切り拓く志をもった人」  
教育目標：「未来に向かってたくましく、しなやかに生きる子を育む」

## 学校教育目標

# 自律し、自立できる子

## <育みたい資質・能力>

- 主体性 考える力 表現する力 工夫する力
- 多様性 協働する力 異なる視点を生かす力
- あきらめない力 チャレンジする力

## <合い言葉>

お：オリジナルを表現する子



あ：お友達と気持ちよく関わり合う子

が：がんばる力を身に付ける子

も：もっとよくなるために考え、工夫する子

## 校内研修テーマ：「思いを伝え合い、主体的に学ぶ子」

### 主体的に学び関わり合い、表現する子

- ① 子供理解、子供の実態から出発し、一人一人を大切に授業、校内研修の充実
  - ※学び手の視点で授業をつくる
  - ※思考の流れにそった単元構想
  - ※主体的に学ぶための学習課題の工夫
- ② 「分かる授業」「楽しいと思える授業」
  - ※授業（学習環境）のユニバーサルデザイン
  - ※ICTの効果的な活用と書くことの蓄積
  - ※対話と振り返りの工夫
- ③ 生活科・総合的な学習の時間の充実
  - ※地域人材との連携、横断的な学習を意識する
- ④ 学習の習慣化
  - ※読書 ※朝学習 ※勉強クラブ ※音読会
  - ※タブレット（AIドリル等）の活用

### 自ら考え、異なる視点を大切に、協働する子

- ① 縦割り活動、異学年交流の充実
  - ※自分も相手も大切にする意識の醸成
- ② 地域のひと・こと・ものに関わり合い、連携することによる社会性の育成
  - ※地域の人材を活かした体験学習（稲作・生活科の体験・伝統工芸等）
  - ※グローバルCITYプロジェクトの有効活用（宿泊体験、ジオ学習、体験学習等）
- ③ 安全指導の充実と判断力の熟成
  - ※集団下校の活用 ※防災講座 ※減災セミナー
  - ※自ら考え判断する安全指導の実施
  - ※カリキュラムマネジメントの視点での安全指導
  - ※実生活に生きる避難訓練の計画的な実施
  - ※吉佐美駐在所、交通指導員等との連携

### めあてに向って、試行錯誤し挑戦する子

- ① めあてを明確にもち、試行錯誤する中で自らを振り返り、挑戦する場の設定
  - ※身に付けるべき資質・能力の明確化と共有
  - ※授業、行事等個に応じた挑戦する場の設定
  - ※試行錯誤の過程を重視し、意欲を認め高める支援
- ② 進んで運動し、共に高めあい、達成感や満足感を味わう雰囲気作り（朝の運動・体育的行事）
  - ※意欲やがんばりが目に見える掲示やカード等の工夫
- ③ 健康や成長について理解し考える機会の設定
  - ※養護教諭の授業参加、測定時のミニ講話等（全員出席の日100日以上）

肯定的な子供観に基づいた教育 子供一人一人が**所属感**を持ち、**多様性や互いの良さを認めあえる**学級・学校作り  
特別支援教育の視点に立った支援、環境整備（SC、SSW、外部機関との連携）、**学びのステージによる連携**

こんな視点で  
取り組みたい

### 大賀茂小の子供のよさを伸ばすために（前年度の評価から）

- ・教師間の共通理解のもと、子供が挑戦する場、子供に任せる機会を増やす
- ・自分の考えを自分の言葉で伝える、主体的に行動し振り返る習慣を身に付ける
- ・互いに声を掛けあい、言いあえる人間関係を大切にする（縦割り活動・複式学級）
- ・異なる見方、異なる環境に触れる機会を設定する

### 家庭との連携・協働

- 基本的な生活習慣 ○学習カードを活用した学習習慣の定着
- 自己肯定感の育成 ○家族としての役割意識・規範意識の熟成
- 家庭読書の充実・強化 ○PTA活動等での縦と横のつながりの強化

### 地域との連携・協働

- CSの視点での地域人材の活用（ゲストティーチャー、どんぐりの詩）
- 大賀茂区、地域と連携した安全、防災教育の強化（地域防災訓練への参加・防災情報共有・吉佐美駐在所との連携）
- 外部諸機関（行政・福祉・児相）との連携 ○朝日地区育成会との連携

### 評価・検証（よりよい教育活動に向けた振り返りと行動）

- 学校評価（児童・保護者・教職員アンケート）→学校評価会議→学校評議員会→情報発信
- 教職員人事評価（学校経営目標に合わせた自己目標設定、手立て、面談など）

### 教師の姿<人権意識を高くもち、子供とともに学び続ける教師>

- ① 子供に対する理解を深め、健やかな成長を支援する教師として、人権意識を高める。
- ② 子供への教育的愛情と教育に対する使命感を持つ。
- ③ 社会情勢の変化を敏感に捉え、教育に関する専門的知識を更新し、子供に確かな学力を育む。
- ④ 働き方を見直し、日々の生活の質や教職人生を豊かにするとともに、多様な価値観を身に付ける。
- ⑤ 職員、保護者、地域の人々と協力し合い、多様な課題に柔軟に対応する。（コミュニティ・スクール事業の推進）